

日本歯周病学会会員の診療施設においてインプラント治療を実施後3年以上経過した症例に関して、インプラント周囲粘膜炎、インプラント周囲炎の頻度ならびに歯周病原菌の感染の有無を調査します。

### 「歯周病患者におけるインプラントの実態調査」

以下の内容で日本歯周病学会 学会指導型研究「歯周病患者におけるインプラントの実態調査研究」を実施します。

**目的：**インプラント治療後3年以上経過した症例に関して、インプラント周囲粘膜炎、インプラント周囲炎の頻度ならびに歯周病原菌の感染の有無を調査する。

**対象患者；**日本歯周病学会会員の診療施設においてインプラント治療を行った患者

#### 調査項目

- 1) 年齢、性別、喫煙歴、全身疾患の有無
- 2) インプラント治療前と現在の歯周組織の状態（残存歯を含む歯周精密検査、抜歯の原因等）、口腔内写真（JPEG形式で提出）
- 3) インプラント周囲粘膜炎、周囲炎に罹患しているインプラント部のパノラマ X線写真（デンタルがあればパノラマ+デンタル）；埋入（補綴終了時）と調査時（JPEG形式で提出）
- 4) 対合天然歯のデンタル X写真（パノラマの場合は3）と同じ、デンタルはある場合のみ）；埋入（補綴終了時）と調査時
- 5) インプラント周囲の角化粘膜幅；調査時（インプラント頰側の近心、中央、遠心部の幅 mm）および、プローブの擦過による可動性の有無
- 6) 改良型 Plaque Index (PII), 改良型 Gingival Index (GI), 周囲粘膜の圧迫による排膿の有無、インプラントの動揺
- 5) インプラント周囲溝のプロービングデプスと BOP；埋入（補綴終了時；データが有る場合）と調査時
- 6) インプラント周囲溝の歯周病原細菌検査(Pg, Pi, Aa)；調査時
- 7) 同一患者の残存歯の最深 PD 部の歯周病原細菌検査(Pg, Pi, Aa)；調査時
- 8) インプラントの種類、手術形式（1回法、2回法）、治療終了からの期間
- 9) 指尖血清抗体価検査(Pg, Pi, Aa, Ecセット)；調査時  
\*\*項目 9) 以外は必須、9) は任意項目として、可能な患者のみ行う。

**研究期間；**2012年10月から終了は未定

#### 細菌検査および抗体価検査

細菌検査（BML）

指尖抗体価検査（サンスター、リージャ）

#### 解析、まとめ

インプラント周囲炎率、インプラント周囲粘膜炎率、細菌の率、抗体価、対合天然歯の咬合性外傷等について解析する。国際英文雑誌か日本歯周病学会のボジションペーパーとして報告、公表予定。

#### 連絡先

一般財団法人口腔保健協会内 日本歯周病学会事務局  
gakkai16@kokuhoken.or.jp

#### 事務局

日本大学松戸歯学部歯周治療学講座  
小方頼昌  
〒271-8587 千葉県松戸市栄町西 2-870-1  
ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp